

特集

訪問看護の意思決定支援

いつから何をどう行なうか

「最期は自宅で？ 病院で？」「胃ろうはつけるの？ つけないの？」。治療選択はもちろん、さまざまな局面で、本人そして家族に求められる「意思決定」。本人・家族にとっては何もかもが初体験で、しかも一度きりのこと。ただでさえつらい状況のなか、心はいっそう揺れ動きます。時には、自分の意思がわからなかったり、本人・家族の意思が対立することもある。このプロセスに寄り添う「意思決定支援」とは、具体的にはいったい何をすることなのか？ 各現場の事例・取り組みに基づき読み解きます。

【事例報告】

私にとって「意思決定支援」とは

- ① 藤田 愛 ② 岩本ゆり ③ 久木ひろ美
④ 川口奏子 ⑤ 田代真理

病院内での意思決定をどう支えるか

Advance Care Planningと看看連携●宇都宮宏子

「若い世代」の意思決定支援

苦悩・葛藤を支えるカウンセリングのエッセンス●嵯峨崎泰子

意思決定支援の“落とし穴”●川口有美子

【座談会】

「マギーズ東京」が本格始動！

意思決定支援としての“場の力”

●Andrew Anderson、中川和彦、田村恵子、秋山正子

INTERVIEW ケアする人々

明石洋子さん(川崎市自閉症協会会長)

編集後記

創刊20周年、新年1号。思い切った座談会をやりました。いろいろおめでたいのでプチ上げてみた夢物語と思いきや、今まで気づかぬフリをしていた？ 現行の政策の弱点射抜く、目の覚める話。対して、世界に秀でるテクノロジーと技術者たちの情熱は、老いや病気や人手や時間、お金等の制約による不自由の外へ人間を連れ出そうとしています。この方向は、人間性を担保せんとす訪問看護に通じるもの。ただ、その先の未来がどう“より人間らしい”かに、ただ楽観的ではられません。怠惰や不明、憂鬱や孤独も人間らしさ。人は、目の障壁がなくなったからといって前に走り出すとは限りません。正月早々の根暗発言ですが、だからやっぱり訪問看護が大切で、訪問看護をより自由にする“テグ”を今年もご紹介したいと思うのです。…杉本

10年後を遠く感じつつ、10年前がさほど昔に思えないのは、年をとったせいでしょうか。当時はまだADSLが普及し始めたばかりで、携帯メールは容量制限で届かないことも多く、CDや本をいくつも持ち歩いては時間をつぶし、調べ物には辞書か図書館、遠出には地図と時刻表が欠かせませんでした。今は、スマートフォンひとつでたいのことがまかなえます。便利なことばかりではありませんが、テクノロジーはいつも、人が人に会い、ふれあいたいという欲求に従って進化してきた気がします。特集でも「連携」「人材育成」など「人」の課題を多くの方があげていました。ロボットや自動運転で実現される未来と、人と人がよりつながっていく未来、違うようでいて実は同じものなのかもしれません。…栗原

訪問看護と介護 第20巻 第1号(通巻223号) 2015年1月15日発行(毎月1回15日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2014, Printed in Japan

1部定価：本体1,300円＋税 2015年年間購読料(税抜、送料弊社負担、年間12冊)：12,600円(冊子版)/

15,600円(冊子＋電子版/個人)/17,520円(冊子＋電子版/共有)/12,600円(電子版/個人)/14,520円(電子版/共有)

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：栗原・杉本・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複製、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は、株式会社医学書院の登録商標です。